

さて、恐竜たちともお別れする時がきました。レスブリッジを後にした私たち一行は、一路ロッキー山脈の観光地バンフをめざして走ります。これ以後は、日本でも有名かつ大人気のカナディアンロッキー観光がはじまり、地質もまたおもしろいのですが、残念なことにレイクルーズやコロンビア大氷原からは恐竜化石は産出しませんので、ロッキー観光の話は観光案内書にゆずることにしましょう。

付け加えますと、バンフにも大通り沿いに自然史博物館があります。小さな規模の博物館ではありますが、地質や化石・鉱物の展示があり、セントヘレンズ火山の噴火のスライドがなかなかの迫力でした。それからカルガリーの動物園には恐竜公園があって子供たちに人気があります。

## 6. エピローグ

2年前のカナダ旅行の際は、慣れない海外旅行のこととして、荷物を少なくするためにストロボを持って行かなかったのが大失敗で、ティレル博物館内の写真を1枚も撮れませんでした。そのため、地質ニュースに寄稿することもまたできなかつたのでした。でも今回大恐竜博が開催されたおかげで、ティレル博物館に展示されていた恐竜の写真を撮ることができ、この原稿も陽の目を見ることができた次第です。

昨年は大恐竜博の他にも、国立科学博物館や地方の博

物館で、恐竜博が盛んに開催されました。手取層群などからの恐竜の化石や足跡の発見が新聞を賑わせることもしばしばで、恐竜人気はますます盛り上がってきています。昨年5月頃だったか、2年半前とそっくりのツアーを別の旅行会社が募集しているのを見つけました。恐竜ツアーが一般に普及する期も熟しつつあるように思えます。皆さんもカナダへ旅行するときは、ロッキーやカルガリーから少し足を伸ばして、恐竜の谷を訪問されてはいかがでしょうか？

### 〔資料〕

ティレル古生物学博物館：BOX 7500 Drumheller, Alberta, Canada T0J 0Y0 TEL (403) 823-7707  
 開館時間：冬季 午前10時～午後5時 日曜祭日休館  
 夏期（6月～10月初旬）午前9時～午後9時 無休

### 参 考 文 献

日立ディノベンチャー'90 大恐竜博ガイドブック(1990)株式会社学習研究社, 128p.  
 The Canadian Society of Petroleum Geologists (1981) Geological Highway Map of Alberta(Second edition).  
 TAKEUCHI Keiji (1991): Valley of Dinosaur in Alberta, Canada.

<受付：1990年9月21日>

## 新 刊 紹 介

### X-ray Microscopy in Biology and Medicine

Edited by K. Shinohara, K. Yada,

H. Kihara and T. Saito

(Japan Scientific Societies Press,

Springer-Verlag, 7,700円)

この本は、1988年8月25-27日 栃木自治医科大学で行われた「X線顕微鏡法栃木会議」(Tochigi Meeting on X-Ray Microscopy' 88) で発表された研究論文をまとめたものである。本の題名が示すとおり、生物・医学へのX線顕微鏡法の応用が中心テーマではあるが、シンクロトロン等のX線源と光学系や各種X線像をイメージ化する技術については全体の2/3近くの紙面を割いており、鉱物学分野で共通する基礎技術が多い。掲載論文は次の3つ

の領域に区分することができる：(1)X線顕微鏡法の最近の進歩、(2)生物・医学への古典的手法と現代のX線顕微鏡法の応用、(3)生物・医学における他の予想される応用についての議論。

この本は、X線顕微鏡法の教科書と言うより、序文にも書いてあるとおり次の2つの観点よりまとめられる：1)他の顕微鏡技術の経験をもっている生物学者等による様々なアイデア、2)X線顕微鏡の機器開発に関係している先導的日本技術の特色。したがって、特に日本のX線顕微鏡法技術と応用について、関係分野の現状を知るにはよいであろう。将来、地質の分野においても利用されるであろうX線顕微鏡開発の芽が見えている。

(鉱物資源部 金沢康夫)